

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年8月18日 (2011.8.18)

【公開番号】特開2010-279373(P2010-279373A)

【公開日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-163439(P2010-163439)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/02

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 16/28

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 39/00 H

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月27日 (2011.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 4 に示されるアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項 2】

配列番号 13 に示されるアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項 3】

モノクローナル抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 4】

モノクローナル抗体である、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 5】

組み換え抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 6】

組み換え抗体である、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 7】

ヒト化抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 8】

ヒト化抗体である、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 9】

完全ヒト抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 10】

完全ヒト抗体である、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 11】

ヒト/マウスキメラ抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 12】

ヒト/マウスキメラ抗体である、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 13】

以下：

(a) 配列番号 13 に示されるアミノ酸配列の 11 以上の連続残基を含む単離されたポリペプチドであって、該ポリペプチドは、該ペプチドのカルボキシ末端に、アルギニン・フェニルアラニン・アミドモチーフを含み、該アルギニン・フェニルアラニン・アミドモチーフは、配列番号 13 に示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドの RFG (^K / _R)モチーフにおけるタンパク質分解切断から得られる、ポリペプチド；および

(b) 配列番号 15 ~ 18 から選択されるアミノ酸配列を含むか、または、配列番号 5 ~ 11 から選択されるメンバーに示されるアミノ酸配列からなる単離されたポリペプチドであって、該ポリペプチドは、該ペプチドのカルボキシ末端にアルギニン・フェニルアラニン・アミドモチーフを含む、ポリペプチド

からなる群より選択される単離されたポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体またはその抗原結合フラグメント。